

(別紙様式)

(A3判横)

平成26年度学校自己評価システムシート (県立川口青陵高等学校)

目指す学校像	学舎のルールを大切にする様々な学習活動をとおして、心身ともに健全な生徒の育成に努め、生徒の進路実現を図り、地域に信頼される学校
--------	---

重点目標	1 授業改善を推進して生徒の学ぶ意欲を高め、学力向上を図り、生徒の進路を実現する。 2 情報発信を強化し、地域からの信頼を確立する。 3 規範意識を育て、基本的生活習慣の定着を徹底する。 4 学校行事・部活動を活性化し、魅力ある学校づくりを推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	13名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 2 2 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	家庭での学習習慣が定着しておらず、義務教育段階の基礎学力が十分に備わっていない生徒が入学しているが、授業規律を整えとともに、きめ細かい指導で基礎基本の指導を徹底している。その結果、学業不振により学校を辞める生徒はほとんどいない。しかしながら、授業以外に自ら進んで学習をしている生徒はまだ少数であり、授業改善や資格取得の奨励等を通じて生徒の学習意欲を高め、進路内定者の割合をより一層高めていくことが課題である。	①進路希望の実現 ②授業以外での学習の状況 ③授業研究の充実 ④資格取得の奨励	①進路ガイダンスや個別指導を充実させ、最後まで諦めさせない指導を行う。 ②進学希望者に学力増進講座への参加を促すとともに、効果的な学習法を紹介し、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。 ③協調学習やビデオ撮影による授業研究を展開し、教員相互の学び合いの場を増やす。 ④漢字検定、情報処理検定は全員受験。英検等は補習を実施し、チャレンジを促す。	①進路内定率90%以上。(H25:86.6→90%) ②学力増進講座の参加人数と授業以外で学習時間を確保している生徒の割合。(30分以上 H25:16→20%) ③ビデオ撮影や協調学習による授業研究の実施回数及び他人の授業を見学した回数(H25:18→20回以上) ④資格取得者数(3級以上)を5%増やす。	①進路内定率は92%である ②学力増進講座参加人数は125名(22名増)30分以上学習している生徒の割合:13% ③ビデオ撮影による授業研究は21回、協調学習による授業公開は4回である。(計25回実施) ④英語検定:7名詠(増減0)情報検定:99名詠(26名増)漢字検定:137名詠(11名減)	A	①集団へのガイダンスの他、個別指導を繰り返し行うことができた。 ②個別の質問をする生徒の増加に伴い、教員が生徒に向き合う時間を確保する。 ③教員相互の授業研究の機会を設け、学校全体の授業力を向上させる。 ④次年度も学校での受検機会を確保し資格取得を奨励する。
2	PTA・後援会活動はここ数年活発になり始め、昨年度の創立30周年事業等は成功裏に終わるなど、保護者等の学校への関心は高まってきている。しかしながら、生徒募集では苦勞している面もあり、情報発信を強化し、より一層本校の魅力を伝えていかねばならない状況である。	①保護者の学校に対する関心度 ②中学校や保護者、塾等への情報発信強化による「入りたい学校」への転換 ③家庭や地域への情報発信の充実	①保護者あて案内の配布方法を工夫するとともに、PTA後援会の協力を得て積極的な広報活動を行う。 ②学校案内等の広報媒体やプレゼン方法の工夫改善を徹底する。訪問先の新規開拓(塾等)や重点化を進める。また、入試の選抜基準を見直し、人物重視の選抜を行う。 ③教職員がホームページを更新しやすい態勢を整える。	①PTA・後援会活動への保護者の参加者数5%増。(H25:1763→1850名) ②部活動体験や学校説明会への参加者数及び入学志願者数20%増。(志願者H25:301→360名) ③学校行事及び部活動に関するホームページの更新数と総アクセス数5%増。(アクセス数H25:16万→17万)	①3/19現在参加者数は1879名である。(7%増) ②選抜基準を見直し人物重視にした。12/15付けの入学希望者数は322名、入試志願者は353名で前年度比約17%増。近隣の塾18か所を訪問した。 ③更新数は大幅に増加した。アクセス数は月平均約4300回であり14%減少。	B	①本校PTA活動は県内でも高く評価されており、今後も本校の魅力を発信したい。理事以外の参加者を増やすことが課題である。 ②学校説明会の回数を増やし、塾への訪問数も増やしていく。新しく導入したプレゼン法を進化させる。 ③ホームページの更新に多くの職員がかかわることができかが課題である。
3	安心安全な学校づくりは進んでいるが、昨年度、遅刻者数が増加した。社会的な自立を踏まえ、服装や交通ルール、また時間を守ることなどの社会規範を身に付けさせるとともに、豊かな心を育むことができるよう、引き続き「心の教育」の充実に取り組んでいく必要がある。	①遅刻者数の減少 ②規律ある態度の育成 ③交通事故の防止	①朝の立掌指導や遅刻者への事後指導を徹底する。全職員による「一斉指導」を行い、遅刻の未然防止に取り組む。 ②「服育セミナー」を実施する。また講演会等、道徳教育研究協力校の取組を充実させる。 ③市や地元警察署と連携し、実技を取り入れた効果的な交通安全教室を実施する。	①遅刻者数20%減少。(総数H25:5565→4500以下) ②服装・頭髪、交通ルールを守っている生徒の割合及び挨拶や言葉遣いがしっかりできていると答えている生徒の割合25%増。 ③交通事故数を前年度より10%以上減少させる。(事故H25:11件→9件以下)	①遅刻者は1月末現在昨年同時期に比べ、約17%減少している。 ②交通ルールを守っている生徒:90% あいさつできる生徒:88% ③2月末現在の交通事故件数は11件である。	A	①遅刻者は減少したが、欠席者は減らない。遅刻・欠席双方の減少に向けて粘り強く取り組みたい。 ②近隣からの苦情は減らないが、粘り強く指導していく。挨拶運動を徹底する。 ③件数は横ばいだが、対応が迅速になり警察との連携も密になっている。引き続き安全確保に努めていく。
4	本校に入学して(させて)よかったと感じている生徒(保護者)は高い割合を示し、一定の評価を受けている。今後は、学校行事や部活動等への一層の参加を促し、高校生活の充足感を高めていく必要がある。	①部活動への参加状況 ②部活動や資格取得、皆勤等、生徒一人一人の活躍の場の拡充と本校の教育活動に対する生徒や保護者の充足感の向上	①放課後の会議の精選や効率化により生徒に向き合う時間を確保する。 ②全校集会の数を増やし、生徒が表彰を受ける機会を増やす。また、学校独自の表彰制度を創設する。	①部活動の定着率10%増。(定着率:H25:40%→50%) ②全校集会で表彰される生徒数。また、本校に入学して(させて)よかったと感じる生徒(保護者)の割合(入学満足度H25:74→80%)	①12月末現在41.2% ②全校表彰生徒は延べ20名(4名増)。表彰制度「川口青陵アワード」創設し20名表彰。 ○生徒:入学してよかった(77%) ○保護者:入学させてよかった(93%)	B	①部活動への定着に向け、顧問が生徒に向き合える時間の確保が課題である。 ②本校独自の生徒表彰制度を本年度末から試行する。次年度は年度当初から周知して本格実施する。

実施日	平成27年1月31日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>全ての学力のベースには「日本語力」がある。漢字の学習は成果が見えやすく、漢字検定を全員受験させていることは生徒の学ぶ意欲を高める意味で効果があり、引き続き取り組まれない。</p> <p>大学生の基礎学力低下も問題である。高校での学力向上に取り組んでほしい。</p> <p>採用担当として、高校時代の成績や出席、部活動の記録は、入社後もそのまま勤務成績に反映されていると感じる。高校生活の充実がキャリア形成のうえで極めて重要である。</p> <p>川口青陵高校の評判は年々よくなっている。今年度は人物重視の入試に変更するようだが、他にも本校の特色を示せる取組を数多く発信してほしい。</p> <p>ホームページは、見やすさや更新の頻度など質・量とも年々改善されている。できれば生徒の生の声が反映されているコーナーがあってもよいのではないかと。</p> <p>遅刻や交通事故防止に向けた「一斉指導」が特色ある取組として取り上げられているが、本来は家庭が担うべきであり、学校としては「道徳教育」の充実や「異文化理解」の取組が前面に出されるべきと感じている。学校は休んでも遅刻してもよいのではなく、きちんと登校するのが当たり前となるよう引き続き取り組んでほしい。</p> <p>入学させてよかったと回答した保護者の割合が高いのは、生徒の生活態度が少しずつよくなり、学校生活を楽しんでいるように見えることが考えられる。生徒自身はあまり実感できないと思われるが、この割合が高いことは評価できる。</p>

